

工事概要

受注者：株式会社 上田組
工事名：一般国道335号 標津町 崎無異改良工事



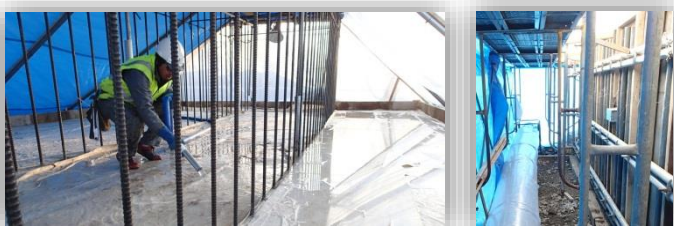
本工事は、標津防災のうち、土砂掘削、盛土、植生、排水構造物、カルバート、橋台の設置を実施しています。

作業期間：平成28年5月～平成29年3月
工事箇所：標津町崎無異
工事内容：土砂掘削(土量 25,100m³)、盛土(土量21,600m³)、植生工、排水構造物工、カルバート工、橋台工 他
進捗率：70.1%(11月末現在)

A1橋台の底板コンクリート打設



底板コンクリートの防寒養生と湿潤養生



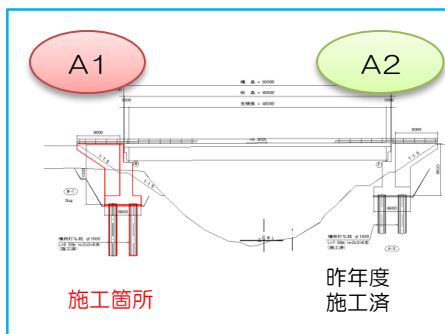
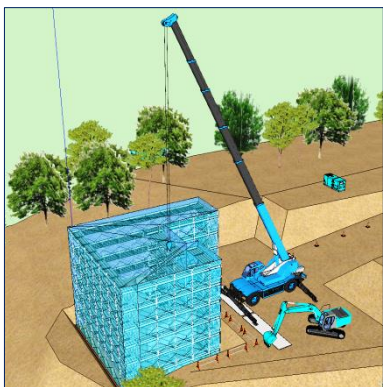
(切土盛土法面箇所)
切土法面整形作業の後、現地で発生した抜根物を破碎利用して、リサイクル緑化をしています



芝生の種子が越冬し、来春には一面緑になります。



クレーン作業による鉄筋組立等のイメージです。



(現場コメント)

土工や法面作業は、雪深くなる前に橋台周りを残して概ね完了する事が出来ました。A1橋台の施工は、底板コンクリートが終了し躯体の足場と養生囲いを施工しているところです。

気象庁から発表された長期予報では、『オホーツク海側は平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう』と出ていました。根室北部に位置する当現場では、通勤時の交通事故や除雪時の重機災害にも十分注意して作業を進めます。

